

令和5年度 事業報告
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

事業概要

当センターにおいては、社会参加への意欲ある健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進、活力ある地域社会づくりに寄与すること」を念頭に、安全で適正な就業の推進、会員拡大に向けて新入会員の募集を図る方策に取り組んでまいりました。

就業状況においては、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せて来ており、会員の就業への影響は無くなって来ていますが、慢性的な就業会員不足及び既存会員の高齢化による作業負荷の課題等は解消出来ておらず、継続的に受注していた公共の大規模草刈り作業を減らすなど、安全・適正就業遵守等の推進を図りつつ、事業運営を行ってまいりました。

就業会員の不足が顕著になっている中、解消を図るため広報紙「シルバー大島」・会報誌「シルバー大島会報」並びに町広報誌への掲載、チラシ配布等により会員募集に力を入れてまいりました。

また、作品展・ゲートボール大会の開催や、ボランティア活動により普及啓発・会員増強に努めました。

令和5年度事業実績一覧表

(金額単位円)

		令和5年度	令和4年度	比較
契約金額	公共	75,316,255	78,749,482	△ 3,433,227
	民間	24,319,630	22,792,742	1,526,888
	合計	99,635,885	101,542,224	△ 1,906,339
受託件数	公共	396	409	△ 13
	民間	437	421	16
	合計	833	830	3
就業延実人員	公共	2,258	2,433	△ 175
	民間	1,153	1,131	22
	合計	3,411	3,564	△ 153
就業延日人員	公共	12,790	13,241	△ 451
	民間	3,895	3,930	△ 35
	合計	16,685	17,171	△ 486
配分金	公共	65,529,246	68,275,993	△ 2,746,747
	民間	21,404,086	20,426,482	977,604
	合計	86,933,332	88,702,475	△ 1,769,143
材料費	公共	3,213,918	4,759,159	△ 1,545,241
	民間	836,467	838,545	△ 2,078
	合計	4,050,385	5,597,704	△ 1,547,319
事務費	公共	6,573,091	5,714,330	858,761
	民間	2,079,077	1,527,715	551,362
	合計	8,652,168	7,242,045	1,410,123

事業報告

1. 就業開拓提供事業

公共事業につきましては、東京都・大島町及び関係諸団体に対して、就業開拓等日常的に連携を深めてまいりましたが、就業会員の不足や、既存会員の高齢化により、安全・適正就業の遵守を図るため、公共の大規模な草刈り作業等の受託を減らしたほか、一部契約内容の変更に伴い契約金額実績は、公共事業で前年度比約4.4%減、民間事業では安定的な受注が確保でき、約6.7%増の実績となりました。

今後も就業会員増強策を図ってまいります。

2. 普及啓発事業

広報紙「シルバー大島」年2回の発行、会報誌「シルバー大島会報」隔月発行、大島町のご協力により「広報おおしま」に会員募集記事の掲載、会員募集チラシ配布（年2回）、各団体主催行事等へのボランティア参加活動、また、当センター主催の作品展・ゲートボール大会の開催等、会員・役職員の協力により実施し、地域住民との交流を図るとともに、就業開拓及び会員拡大を同時に推進する活動に努めました。

3. 研修・講習事業

東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会については、オンラインによるリモート形式と集合形式の併用で役職員が受講し報告することにより、情報の共有化を行い、安全・適正就業の推進を図りました。

自主講習会として、和服(浴衣等)の着付け教室を開催し、会員相互の交流を図りました。

また、会員の安全意識向上と、万が一の事態に備え『救命救急講習会(AED操作等)』を実施しました。

4. 調査研究事業

会員の適正な就業を推進するとともに、当センターの適正な組織運営と体制作りを図るため、理事会及び各委員会と事務局との連携を密にし、大島町・東京しごと財団等の協力を得て、法令遵守、適正な請負契約、就業のあり方等について改善に努めました。

5. 相談事業

既存会員に対する就業相談を随時センター施設内で実施すると共に、新規入会希望者への説明・相談を実施しました。

また、今年度は17名の方が新規入会され、更に会員増強を図る目的で平成28年度に制定した「会員紹介報奨制度」を活用した、既存会員による声掛け運動により、新規入会者の内10名の方が入会しました。

しかし、過去3カ年の会員数については、令和2年度（223名）、令和3年度（222名）、令和4年度（221名）で、今年度末では（215名）となっており、会員数については依然として減少傾向にあります。

また、既存会員の高齢化により就業会員の不足が顕著になって来ており、事業運営に支障を来していますので、今後も就業会員の確保に注力してまいります。

6. 安全就業推進事業

シルバー事業の最優先課題でもある、安全就業推進のための転倒事故防止や、熱中症対策、感染症予防対策等の会員へのお知らせ（会報誌「シルバー大島会報」）により、タイムリーな周知を行いました。

また、安全管理委員会による就業先への安全パトロールの実施並びに、作業に必要な機材・道具等の定期点検を実施し、安全就業の徹底を図り、『事故ゼロ』を達成する事が出来ました。

引き続き、事故防止等の対策を図ってまいります。

7. 法人運営

公益社団法人の運営について、理事会のもとに組織的で機能的な事業運営を行うため、総務委員会において関係規程の改正（案）、事業計画（案）等の検討を行い、法令遵守のもと運営全般の把握や事務の効率化等について、理事会及び各委員会を中心とした組織運営に努めました。

また、令和5年10月施行のインボイス制度に伴う消費税の自主財源確保等の検討を実施しました。

適切な経理処理と運営全般に繋がる会計期中・決算及び業務監査を行い、監事による監査機能の充実を図りました。